

事業概要シート

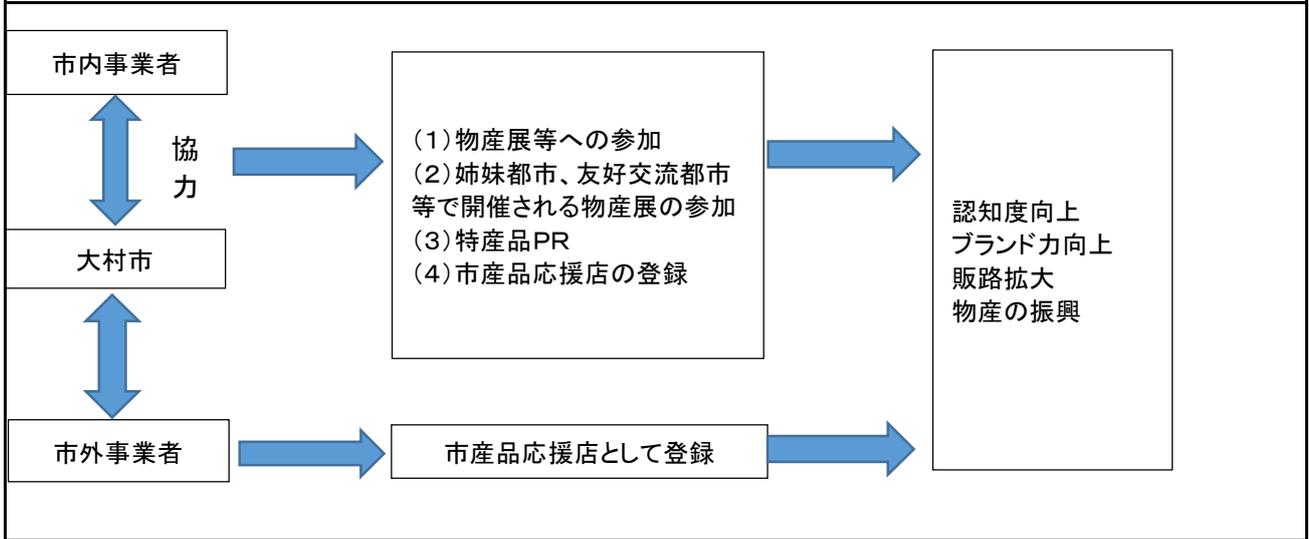
施策	1402	商工業経営基盤の強化と創業支援	<<>の金額 現年度当初・補正予算、前年度繰越額の合計 ※補正予算要求時は今回の補正予算額を除く ※次年度予算要求時は次年度繰越額を除く
事業名	特産品販路開拓事業	その他の見直し	予算額 4,293 千円 << 5,609 >>千円
事業期間	平成29年度 ~		財源内訳
根拠法令要綱等			
			国庫支出金 千円 県支出金 千円 地方債 千円 その他 4,293 千円 一般財源 千円

【事業の目的・概要・対象】

【目的】 大村市外への販路開拓を図るため、市外で開催される物産展等に参加し、ふるさと納税と合わせた特産品のPRを行い物産の振興とブランド力向上を図る。

【事業内容】

- (1) 物産展等に参加し、大村市内事業者の販路拡大の機会を設ける。
 ①市内特産品の販売
 ②ふるさと納税のPR
- (2) 姉妹都市（仙北市・伊丹市）、友好交流都市（飯南町）で開催される物産展への参加。
- (3) 特産品PR
 ①特産品のパンフレット作成
 ②認知度向上のため、県人会やイベント等での景品提供。
 ③新規の取引先に試供品として本市の特産品の提供。
- (4) 市産品応援店の登録
 本市の産品を使ったメニューを提供する飲食店等を本市産品応援店として登録し、物産PRを行う。



【背景】

市内の市場マーケットを維持・拡大していくとともに、新たな販路開拓を図ることが必要である。また、大村市を訪れた人に地場産品のPRを行い、物産の購入及び地域産業の振興を図るとともに、大村市再訪へつなげる必要がある。市内特産品に触れることができる機会としてふるさと納税があげられるため、本市としても活用していく。

担当課	商工観光部ふるさと物産振興課	課長	池 加寿子
担当者	松尾 あずみ	問合せ先	0957-53-4111（内線292）

事業概要シート

【活動指標】

指標名		単位	R 6 (実績)	R 7 (計画)	R 8 (計画)	R 9 (計画)	R 10 (計画)
①	物産展開催数	計画値 件	2	3	3	3	3
②		計画値					

【成果指標】

指標名		単位	R 6 (実績)	R 7 (計画)	R 8 (計画)	R 9 (計画)	R 10 (計画)
①	物産展来場者数	計画値 人	6,198	30,000	30,000	30,000	30,000
②	市産品応援点数	計画値 件	7	10	10	10	10

【予算・決算】 (千円)

事業費は当初・繰越・補正予算の合計額

年度	R 5	R 6	R 7	R 8	R 9	R 10	合計
事業費	16,305	4,878	5,609	4,293	5,609	5,609	42,303
国庫支出金							0
県支出金							0
地方債							0
その他	13,182	4,878	5,609	4,293	5,609	5,609	39,180
一般財源	3,123	0	0	0	0	0	3,123
人件費	0	6,942	5,502	5,502	5,502	5,502	28,949
職員(人)		0.85人	0.65人	0.65人	0.65人	0.65人	3.45人
時間外勤務(h)		103h	110h	110h	110h	110h	543h
会計年度任用職員(人)		0.30人	0.30人	0.30人	0.30人	0.30人	1.50人
フルコスト	16,305	11,820	11,111	9,795	11,111	11,111	71,252

妥当性 (市の関与)	本市特産品の知名度向上及び販売促進を図るため、大都市圏の百貨店・大型複合商業施設及び催事場等で大村市物産展を開催するなど、特産品PRを行うことが必要であり、市が積極的に取り組むことは妥当である。
有効性 (施策貢献度)	特産品の販路開拓により、本市特産品の知名度向上及びブランド力向上を図ることは、本市の地域経済活性化につながる。
効率性 (コスト)	一過性の取り組みに終わらないよう継続的に実施していく事が必要であり、大都市圏に向けて特産品販路開拓事業を実施することは必要である。

1次評価	担当者記載のとおり
2次評価	1次評価者記載のとおり